

声×音×絵

朗読会

絵のない絵本

この星が絵でうめつくされたら

同時
開催

世界一大きな絵 2016 in 仙台 2013310

「絵のない絵本・この星が絵でうめつくされたら2010~2020」の展覧会

ものがたりと、おとのひびきを感じて
じーんとからだのなかを振動させて

みんなでいっしょに絵を描こう
大人も、こどももね

むちゅうで、楽しく、絵を描こう
わくわくしながらね

そうしたら、きっとしあわせな世界が見えてくる
いのちと、希望のものがたりを一緒につくろう！

クリスタルボウルの澄んだ音色と一緒に、「絵のない絵本」のふたつの物語の朗読を聴いていただきます。
朗読会の後は、みんなで一緒に、自由にポスカで絵を描きましょう。絵の上手い下手なんて気にしないで！
こころに浮かんだイメージを身体からアウトプットすることで、広がり、実感できる何かを共有する、
そんなステキな時間をみんなで創りたいと思っています。

朗読作品 (いずれも稲吉紘美 作)

「この星が絵でうめつくされたら」朗読:及川徳子 / 「おおごまだらになりたい」朗読:佐々木久美子
クリスタルボウル演奏 遠藤園子

日時: 2013年3月10日(日)14:00~16:00(開場13:30)

場所: エルパーク仙台スタジオホール(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル三越定禅寺通館6階)

料金: 大人 1,500円 / 高校生以下 500円(未就学児の入場は出来ません)

定員: 190名 ※収益は経費をのぞいてすべて寄附を致します。

朗読の後、みんなで天竺木綿にポスカで自由に絵を描きます。参加は自由ですが、よろしければ是非ご参加下さい。
画材はこちらで準備しますが、ポスカをお持ちの方はご持参下さい。

主催: NPO Love☆Live☆Life☆Japan / 共催: 特定非営利活動法人 Earth Identity Project

チケットのお問合せ・お申し込みは、ラブ・ライブ・ライフ・ジャパンまでご連絡ください。

TEL: 090-1496-6844 / E-mail: rock-stars@nifty.com / Web: http://ameblo.jp/lovelivelifejapan/



テーマは再生と希望。 そして新たな地球を創ってゆくこと。

「絵のない絵本」って？

絵がなく、文字のみで構成されている絵本で、子どもから大人まで、一人ひとりがこの絵のない絵本に書かれている物語に沿って、本そのものに直接絵を描き、世界で一冊だけの絵本を創作するという、これまでにない趣旨の絵本。
絵本の収益金の一部は広島・長崎の市民による平和活動、東日本大震災・福島第一原発事故被災者の支援活動に寄付されています。

「世界一大きな絵」って？

世界中のすべての国々の子ども達の描いた絵をつなぎ合せ、国や宗教・人種を越えて世界が絵でひとつになることを願うもので1996年にスタート。2012年12月からは163カ国の在日大使館を通じての各国の子供達の絵や、日本全国781市の子供達の絵をつなぎ合せ、一枚の世界一大きな絵を製作し、2016年のリオ・デ・ジャネイロオリンピックで披露される予定となっている。

「絵のない絵本」著者・稲吉紘美さんのプロフィール

マーク・ロゴデザインの第一人者であり世界を代表するCIデザイナー。

ドライ・ラマ法王、タイ王国国王、ブルネイ王国国王、ノーベル平和賞受賞のムハマト・ユヌス博士をはじめとする世界の著名人のパーソナルマークをデザイン、創作。パーソナルマークは「内なる肖像画」であり、目には見えない対象の内なる世界・本質をシンボライズし未来をもビジュアル化する。また美の力で世界を平和に導くことを生涯のテーマとして掲げ、ソーシャルデザインイノベーター、ピースコンダクターとしても世界的に注目されている。特定非営利活動法人 Earth Identity Project 理事長。

絵のない絵本「世界が絵でうめつくされたら」

その星では誰もが生まれるとすぐ絵を描き始める。心のままに。生きものすべてが絵を描く伝説の惑星。描き続ける理由とは……？



朗読：及川徳子

フリーのアナウンサーとして多くのラジオ・テレビ番組、コマーシャルに出演・制作。20年以上に渡りプロのアナウンサーを養成。現在出演・制作中のdate FM「ロックンロール黄金時代」は23年のロングラン。内的世界も掘り下げる。またセラピスト・ヒーラーとしても活動。心の使い方や真理を伝えるセミナーや朗読、セラピストの養成も行う。「声と言葉と心」を繋いだ独自の講座「ヴァイブレーションヴォイスセミナー」を開催、講演。

また心と身体と魂を解放する「フリーダンスセラピー」を開催。ひとりひとりが自分の本質の輝きをあらわして生きられる調和の世界を創ることをテーマとしている。NPO Love☆Live☆Life☆Japan代表。

絵のない絵本「おおごまだらになりたい」

傷付いた少女があこがれたのは、白と黒のごまだらの美しい模様をもつ蝶。蝶になりたい少女ははたして……？

朗読：佐々木久美子

小学校の演劇クラブ以降、演劇一筋。高校卒業後劇団妻を経て、フリーの役者として様々な舞台に出演。2011年、TheatreGroup「OCT/PASS」に入団。理由は、震災後やりたいことは「いつか」じゃなく「今」やろうと思ったから。1999年よりお話し会の会「がじゅまるの樹」を結成。ロコミで評判が伝わり、小学校等での公演は300回を超えた。

主な出演作品

十月劇場 時の葦舟三部作第1巻「絆の都」/TeatreGroup「OCT/PASS」/
「又三郎 20世紀最終版」/「ノーチラス」/「人や銀河や修羅や海胆は」
「方丈の海」



クリスタルボウル演奏：遠藤園子

クリスタルボウル奏者
ホリスティックセラピスト

2006年旅先のアメリカで偶然クリスタルボウルに触れ、2007年より仙台をはじめ、全国各地で演奏会や音響療法のセッション、ワークショップを行う。市民講座、学校、自治体などで、音によるメンタルケアやセルフケアの講師としても活躍中。



※クリスタルボウルは水晶でできた美しい楽器です。水晶が発する振動が響きとなって空間に広がり、からだやこころが細やかな振動で深いリラクゼーション状態に導かれます。飲米では緩和ケアやこころのケアにも用いられています。

この企画は「311星空プロジェクト」とも連動しています。

「311星空プロジェクト」とは……

東日本大震災の起きた14:46から6時間後の20:46から1時間灯りを消して、大切な人と大切なことを感じながら過ごそうという心のイベント。震災の夜、灯りを失った空には見たこともないような満天の星。普段の生活の中で見えなくなっていた大切なものをあらためて感じその星空を象徴にして、星空の先にある希望といのちの輝きを見続けていこうというもの。何が起きてても損なわれることのない星空のような大切な輝きを。星空に託した想いで地球を包み、ひとつの想いで世界が繋がることを願っているプロジェクト。